



\*MAN367D\*

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

### ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

●建付け調整後、本体上端と上レール下端のチリ寸法が8mm以下であるか確認してください。本体と枠の間にすき間が生じ、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。

### ■取付け上のおお願い

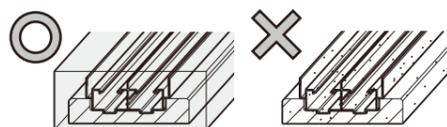
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 各部材のガイド穴にゴミが入らないようにしてください。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。但し、叩き込まないようにして下さい。保持力低下の原因となります。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから取付けしてください。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 造作材・建具枠の下地材及び、かい木には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 枠の組立て後、揺らす・ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 床材とツバ付薄敷ずりのすき間は5mm以内にしてください。ただし、キャスターや車いすなどの荷重がかかる場合は、すき間をあけないでください。ツバ材の取付けは、ハンマーなどで強くたたき込まないでください。
- 枠は倒れ、傾き、たいこ、つづみ、ねじれがないように取付けてください。片引枠の場合は、中縦枠の施工にご注意ください。吊込み後、本体とのすき間・干渉の原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 本体は落下させたり、立てかける時に衝撃を与えないでください。本体部品が損傷し、開閉に支障をきたす原因になります。
- 片引き・引分けの建具引込み部の半壁は、枠を開口部に取付けてから取付けしてください。
- 軽量鉄骨に直接取付ける場合は、同梱のねじでは取付けできません。現地にて鉄骨までかかる長さのねじを手配してください。
- 鴨居取付けねじの締めすぎにご注意ください。上レールを変形させると本体の動きが悪くなる場合があります。本体吊込み時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。
- フラット下レールを固定する床(下地)は、段差やすき間がないように仕上げしてからレールを固定してください。フラット下レールや埋込下枠を取付けるねじは、締めすぎないようにしてください。フラット下レール/埋込下枠が変形し、本体開閉不具合の原因となります。
- 取付け時の建具養生などは、ダンボール、ミラーマットなどを使用し、粘着力の強いテープ(ガムテープ、養生テープなど)を長い時間建具表面に直貼りしないでください。テープを剥がす際、表面シートを傷めたり、またテープそのものの粘着剤が表面に付着したまま残ることがあります。
- 枠は取付け前に開梱した状態で現場に置かないようにしてください。現場の粉塵がソフトモーション部品に混入し、作動不良の原因となります。ソフトモーション部品に潤滑剤などを塗布しないでください。作動不良の原因になります。
- 運搬・加工の際は、キズ付かないように取扱ってください。

### ■本体保管上のおお願い

- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。  
・直射日光の当たる場所 ・昼夜などで温度差の激しい場所 ・湿気の多い場所
  - 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

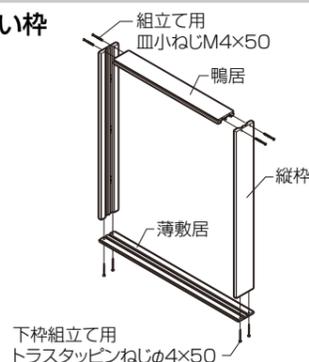
### ●お願い

※枠は取付け前に開梱した状態で現場に置かないようにしてください。現場の粉塵がソフトモーション部品に混入し、作動不良の原因となります。

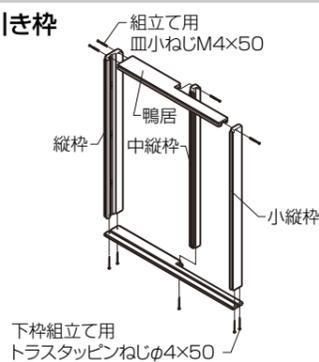


### ■部品・部材の名称

#### ●引違い枠



#### ●片引き枠



※図はツバ付薄敷居使用の場合を示す

## ■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品

本体	本体	片引き	片引き 2枚建	片引き 3枚建	引違い	引違い 3枚建	引違い 4枚建	引分け
		1 梱包×1	1 枚梱包×2	1 枚梱包×3	1 枚梱包×2 ※ガラス扉は R/L1 体ずつ 1 枚梱包	1 枚梱包×3 ※ガラス扉は R/L1 体ずつ 1 枚梱包	1 枚梱包×4 ※ガラス扉は R/L1 体ずつ 1 枚梱包	1 枚梱包×2 ※ガラス扉は R/L1 体ずつ 1 枚梱包
鴨居	1	1	1	1	1	1	1	1
上レール	1	1	1	1	1	1	1	1
縦枠	1	1	1	1	2	2	2	-
中縦枠	1	1	1	1	-	-	-	2
小縦枠	1	1	1	1	-	-	-	2
幅木	1	1	1	1	-	-	-	2
戸当たり	2(錠付きの場合3)	3	4	4	4	6	4	2
目かかし	-	-	1	1	-	-	-	-
召合せパッキン	-	-	-	-	-	-	2	2
枠用部品セット	1	1	1	1	1	1	1	1
ツバなし薄敷居 ※4方枠の場合のみ	1	1	1	1	1	1	1	1
ケーシングセット ※ケーシングタイプのみ	横:2 縦:4	横:(長:1、短:1) 縦:4	横:(長:1、短:1) 縦:4	横:(長:1、短:1) 縦:4	横:2 縦:4	横:2 縦:4	横:2 縦:4	横:(長:1、短:1) 縦:4
ツバ付薄敷居※別売品	下枠:1、レール:1 ツバ材:(長:1、短:1)	下枠:1、レール:2 ツバ材:(長:1、短:1)	下枠:1、レール:3 ツバ材:(長:1、短:1)	下枠:1、レール:2 ツバ材:2	下枠:1、レール:3 ツバ材:2	下枠:1、レール:2 ツバ材:2	下枠:1、レール:2 ツバ材:2	下枠:1 ツバ材:(長:1、短:1)
埋込敷居※別売品	敷居:1 下レール:1	敷居:1 下レール:2	敷居:1 下レール:3	敷居:1 下レール:2	敷居:1 下レール:3	敷居:1 下レール:2	敷居:1 下レール:2	敷居:1 下レール:2
フラット下レール※別売品	1	1	1	1	1	1	1	1

## ■部品セット

枠用部品セット	片引き (NC156、171、180/C付)		片引き2枚建 片引き3枚建		引違い (NC156、171、180/C付)		引違い3枚建 引違い4枚建		引分け	
	3方枠	4方枠	3方枠	4方枠	3方枠	4方枠	3方枠	4方枠	3方枠	4方枠
組立て用皿小ねじM4×50	4本	9本	4本	9本	4本	8本	4本	8本	4本	10本
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50	5本	5本	8本	8本	5本	5本	8本	8本	8本	8本
縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	6本	6本	6本	6本	6本	6本	6本	6本	6本	6本

枠用部品セット	片引き (NC90、115)		引違い (NC90、115)	
	3方枠	4方枠	3方枠	4方枠
組立て用皿小ねじM4×50	4本	9本	4本	8本
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50	5本	5本	5本	5本
縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	6本	6本	6本	6本
穴埋めシールシート	1枚	1枚	1枚	1枚

### ブッシュ錠セット

ブッシュ錠本体	1個
錠座カバー	1個
ブッシュ錠取付け用皿タッピンねじφ3.5×8	2本

ツバ付薄敷居用	片引き	片引き2枚建	片引き3枚建	引違い	引違い3枚建	引違い4枚建	引分け
組立て用トラスタッピンねじφ4×50	5本	5本	5本	4本	4本	4本	6本
縦枠下部ピース	-	1個	2個	-	-	-	-
中縦枠組立て下部ピース	1個	1個	1個	-	-	-	2個
下部ピース取付け用皿タッピンねじφ4×20	1本	2本	3本	-	-	-	2本

フラットレール用部品セット	片引き	片引き2枚建	片引き3枚建	引違い	引違い3枚建	引違い4枚建	引分け
レール取付け用タッピンねじφ4(D6)×18	14本	18本	24本	14本	18本	24本	24本
1枚引き用端部ピース	2個	1個	1個	-	-	-	2個
2枚引き用端部ピース	-	1個	-	2個	-	2個	-
3枚引き用端部ピース	-	-	1個	-	2個	-	-
中縦枠下部スペーサー	1個	1個	1個	-	-	-	2個

埋込敷居用部品セット	片引き	片引き2枚建	片引き3枚建	引違い 引違い3枚建	引違い4枚建	引分け
敷居取付け用皿タッピンねじφ4×30	5本	6本	8本	6本	9本	9本
縦枠下部ピース	-	1個	2個	-	-	-
縦枠下部ピース取付け用皿タッピンねじφ4×20	-	1本	2本	-	-	-
中縦枠下部スペーサー	1個	1個	1個	-	-	2個

## ■開口部の作り方

### ■対応壁厚 (単位:mm)

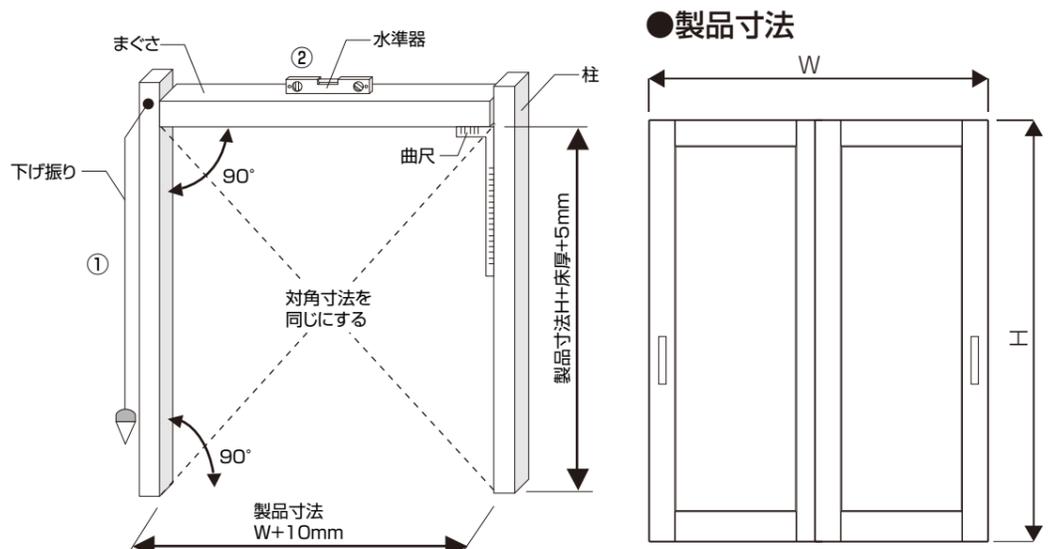
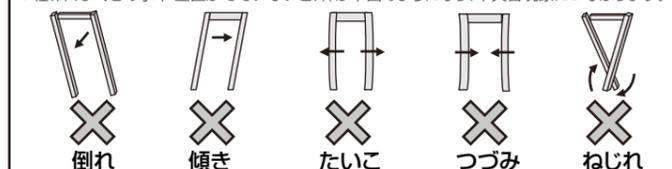
ケーシング付タイプ	対応壁厚	ノンケーシングタイプ	対応壁厚
薄壁用	111~141	NC90	50~75
厚壁用	142~182	NC115	76~100
3枚建・片引き2枚建	146~188	NC156	116~130
片引き3枚建	186~216	NC171	131~145
		NC180	146~160
		NC210(片引き3枚引き)	170~190

### ■壁厚の違いによる枠とケーシングの組合せ (単位:mm)

ケーシング (足寸法)	対応壁厚	ケーシング (足寸法)	対応壁厚
8	111~121	8	146~156
14	122~133	14	157~168
19	134~141	19	169~176
8	142~148	25	177~188
14	149~160	8	186~196
19	161~170	14	197~208
25	171~182	19	209~216

- ① 下げ振りを使って、柱が垂直になるように取付けてください。  
 ② 水準器・曲尺を使って、まぐさが柱と垂直で、水平になるように取付けてください。

※柱、床、まぐさの水平・垂直がでないと、枠が下図のようになり、不具合現象につながります。



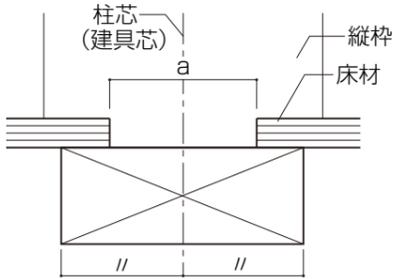
## 床の張り方

### 〔埋込敷居の場合〕

#### ●引違い・3・4枚建

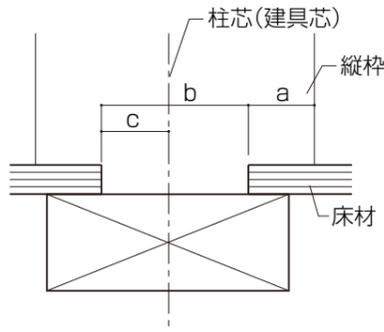
※床材は、柱芯（建具芯）を中心にa寸法あけて張ってください。

枠機種	a寸法 (単位:mm)
引違い・4枚建	60
3枚建	96



#### ●片引き・引分け

※床材は、柱芯（建具芯）より引込み側にb寸法あけて張ってください。柱芯と建具芯が合っていない場合は、縦枠端部よりa寸法内側に入った所にb寸法あけて張ってください。



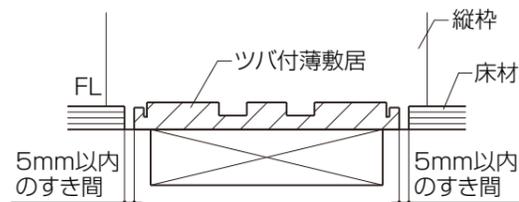
(単位:mm)

枠機種	a寸法	b寸法	c寸法
NC90	15	30	0
NC115	27.5	30	0
NC156	48	30	0
NC171	63	30	7.5
NC180	72	30	12
C付115(薄壁用)	27.5	30	0
C付142(厚壁用)	54.5	30	13.5
NC片引き2枚建	37	60	7
NC片引き3枚建	31.5	96	22.5
C付片引き2枚建	27.5	60	12.5
C付片引き3枚建	32	96	33

※フラットレールを使用する場合、床乗せの仕様になるため、床の開口をつくる必要はありません。

### 〔ツバ付薄敷居の場合〕

※枠の取付け後、下図のように床材を張ってください。

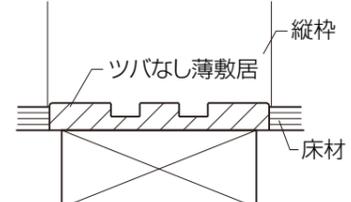


お願い

※床材と薄敷居のすき間は5mm以内にしてください。ただし、キャスターや車いすなどの荷重がかかる場合は、すき間をあけないでください。

### 〔ツバなし薄敷居の場合〕

※枠取付け後、縦枠・薄敷居にそって床材を張ってください。



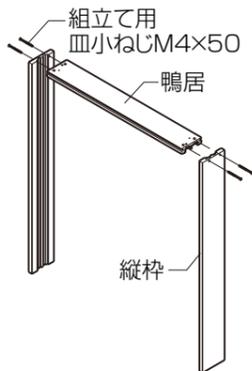
## 取付け順序

### Ⅰ枠の組立て

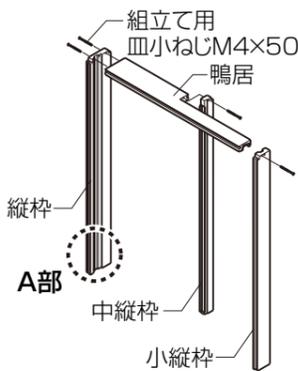
#### 〔埋込敷居・フラット下レール使用の場合〕

●下図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。

#### ●引違い枠

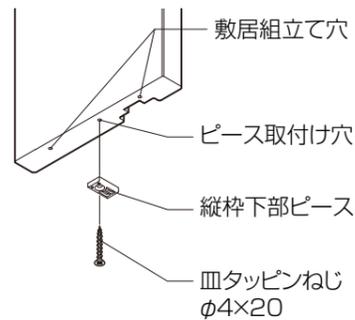


#### ●片引き枠



#### ■A部詳細図(片引き2枚/3枚の場合)

※縦枠の下部に縦枠下部ピースを同梱のピース取付け用皿タッピンねじφ4×20で取付けてください。  
※片引き2枚建の場合は1個、片引き3枚建ての場合は2個取付けます。



#### 〔埋込敷居〕

- 片引き
- 引違い・片引き2枚建
- 3枚建・片引き3枚建

#### 〔フラット下レール〕

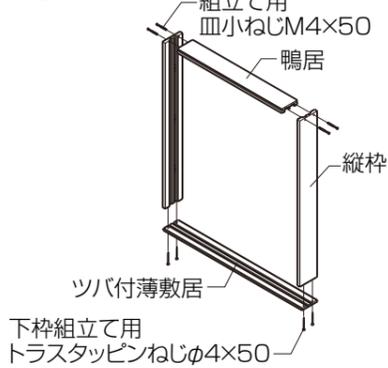
- 片引き
- 引違い・片引き2枚建
- 3枚建・片引き3枚建

※ NC90/115 の場合、組立て用ねじ部に穴埋めシールを張付けてください。

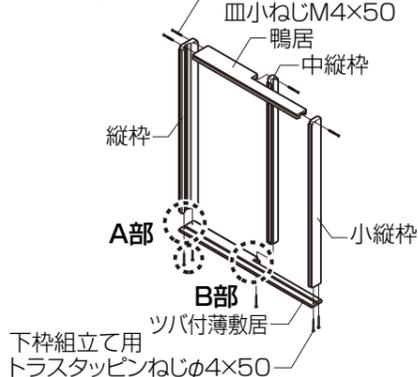
### 〔ツバ付薄敷居使用の場合〕

●下図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)およびトラスタッピンねじφ4×50)で固定します。

#### ●引違い枠



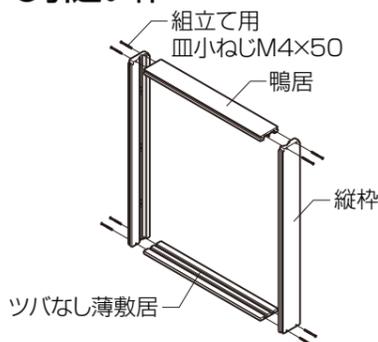
#### ●片引き枠



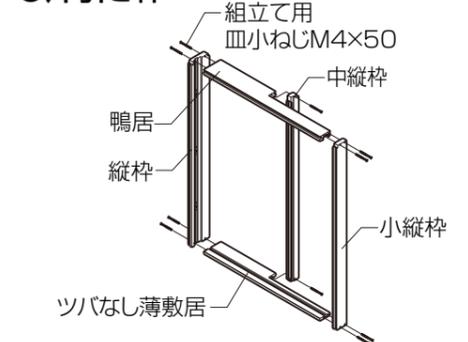
### 〔ツバなし薄敷居使用の場合〕

●下図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。

#### ●引違い枠

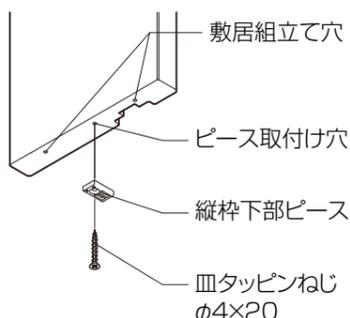


#### ●片引き枠



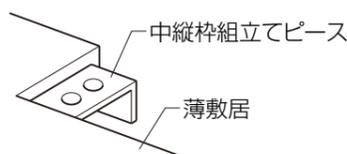
#### ■A部詳細図(片引き2枚/3枚の場合)

※縦枠の下部に縦枠下部ピースを同梱のピース取付け用皿タッピンねじφ4×20で取付けてください。  
※片引き2枚建の場合は1個、片引き3枚建ての場合は2個取付けます。



#### ■B部詳細図

※中縦枠をピースの上のせ、薄敷居に同梱のねじ(トラスタッピンねじφ4×50)で下から固定します。



#### 〔ツバ付薄敷居〕

- 片引き
- 引違い

#### 〔ツバなし薄敷居〕

- 片引き
- 引違い

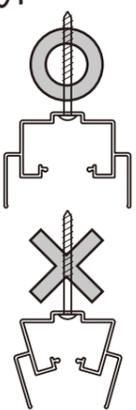
## 2 枠の取付け

開口部と、縦枠・(中縦枠・小縦枠)・上枠との間にかい木を入れて取付けます。

### 《取付け要領》

#### 枠取付け上のお願ひ

- ※片引き・引分けの建具引込み部の半壁は、枠を開口部に取付けてから施工してください。
- ※鴨居取付けねじの締めすぎにご注意ください。上レールを変形させると本体の動きが悪くなる場合があります。本体吊込み時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。

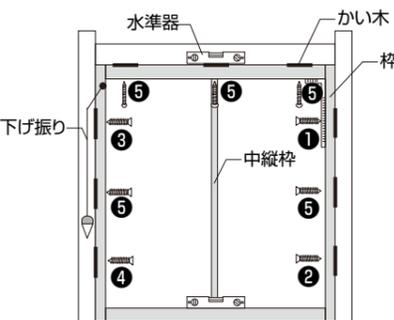
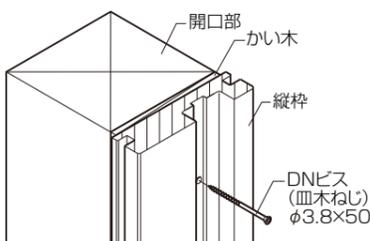


#### ●鴨居

- ※鴨居はトラスタッピンねじφ4×50で固定してください。

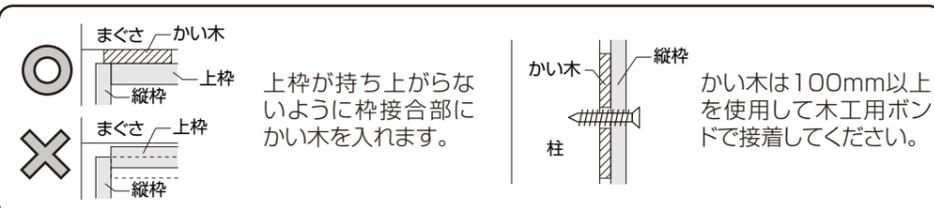
#### ●縦枠・小縦枠

- ※DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50で固定してください。



※中縦枠が曲がらないように注意してください。

- ①枠を開口部にはめこんで、下枠・上枠の水平を確認してから、縦枠の①を仮固定してください。
  - ②下げ振りを使って垂直・倒れないことを確認してから、縦枠の②を仮固定してください。
  - ③水準器で下枠・上枠の水平を確認してから縦枠の③を仮固定してください。
  - ④下げ振りを使って垂直・倒れないことを確認してから、縦枠の④を仮固定してください。
  - ⑤枠の水平・垂直を再度確認して、上下、左右のすき間をかい木で調整後、残りのねじで本固定してください。
- ※枠に水糸を張る等して枠が曲がっていないことを必ず確認してください。

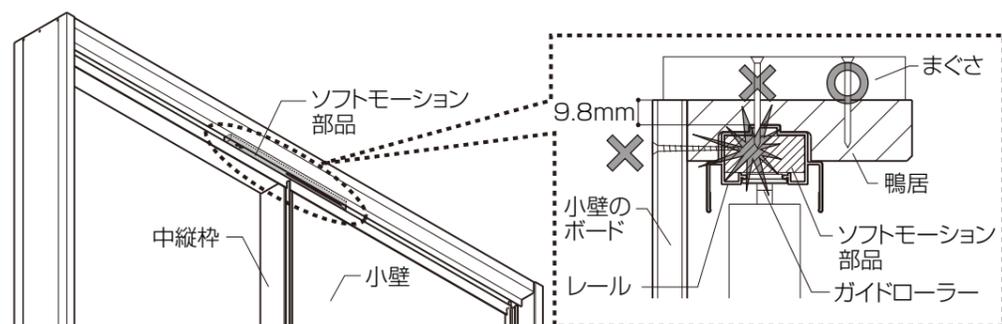


#### ●お願い

- ※枠の倒れ、傾き、たいこ、つづみ、ねじれがないように取付けてください。

#### ●お願い

- ※片引き・引分けの建具引込み部の小壁は、枠を開口部に取付けてから施工してください。小壁のボードを取付ける際、取付ビスが鴨居と鴨居レールを貫通しないように注意してください。中縦枠をまたぐ位置にソフトモーション部品があるため、部品が破損し、作動不良の原因となります。



- ※軽量鉄骨に直接取付ける場合は、同梱のねじでは取付けできません。現地にて鉄骨までかかる長さのねじを手配してください。

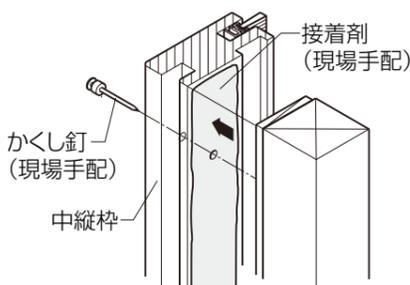
- ※鴨居の躯体固定ねじを締めすぎると、本体の動きが悪くなる場合があります。本体吊込み時に動きが悪い場合はねじをゆるめてください。

- 小壁の施工時や、まぐさからのねじ打ちなど特に注意してください。

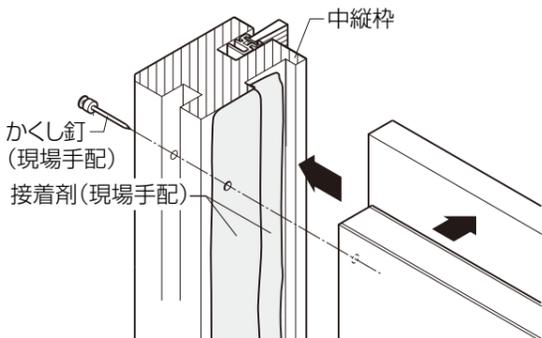
#### ●中縦枠

- ※裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、専用のかくし釘で固定します。

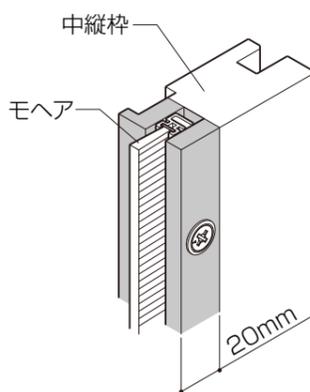
#### ■C付/NC156、171、180、210の場合



#### ■NC90、115の場合



中縦枠を固定する際釘やタッカーをモヘア側から表裏20mmの斜線部には打たないでください。中縦枠にはモヘアを調整する機能が付いているため、部品が破損し調整出来なくなります。



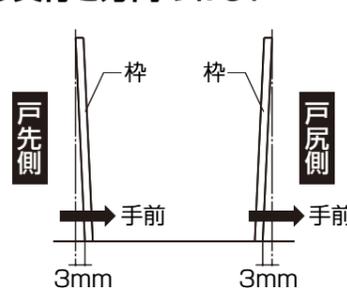
#### ■取付け精度の許容範囲

- ※横方向の倒れ・奥行き方向のねじれ・枠のタイコ・ツツミが3mmを超える場合は、3mm以内になるように取付けを修正してください。(引戸が吊込めない・ソフトモーション機構の作動不良の原因となります。)

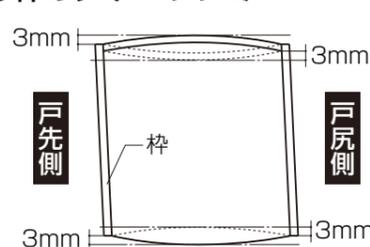
#### ●横方向の倒れ



#### ●奥行き方向のねじれ



#### ●枠のタイコ・ツツミ

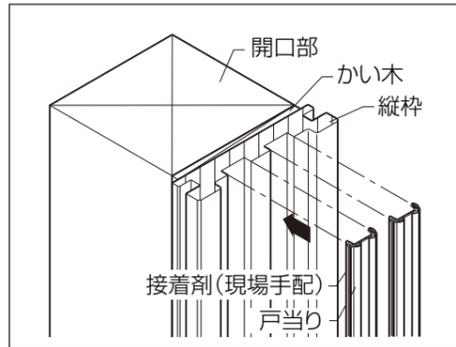
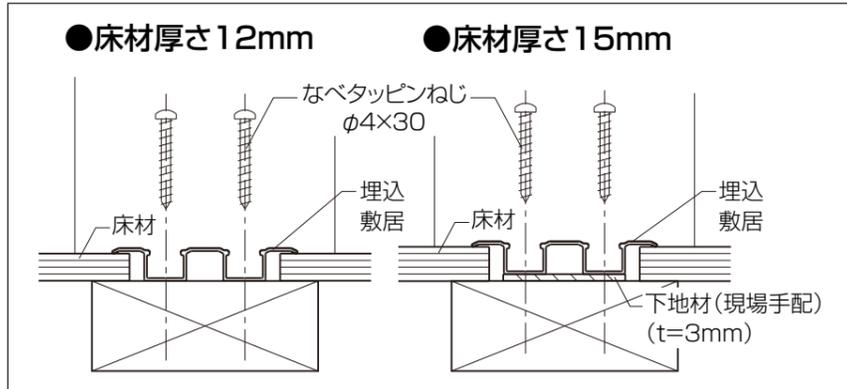
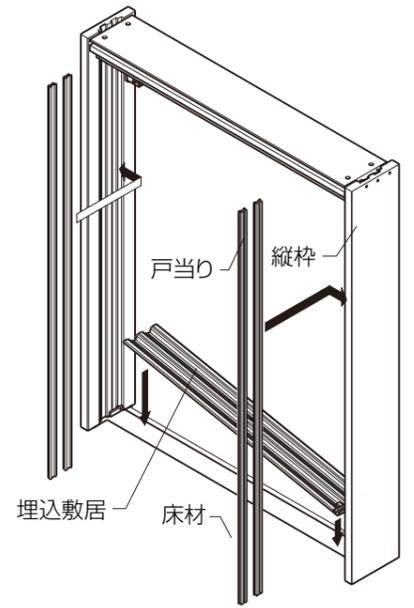
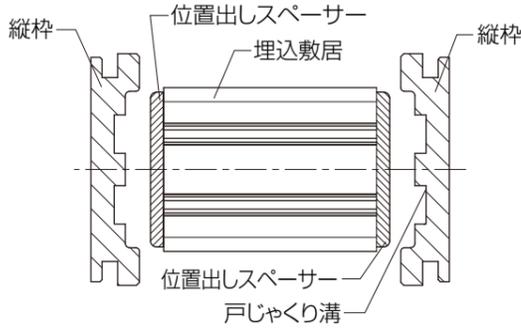


**【埋込敷居の取付け】**

**●引違い枠**

(3・4枚建枠は引違い枠に準じる)

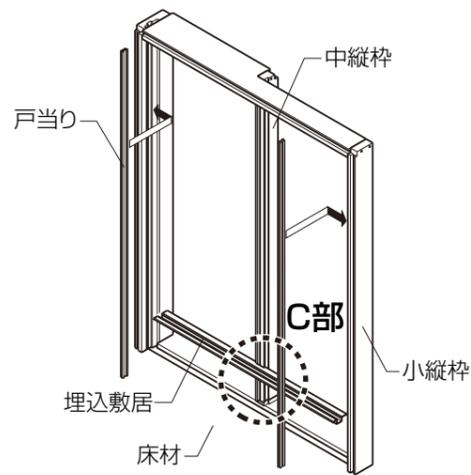
- ①埋込敷居に付いている位置出しスペーサーを、縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。
  - ②同梱のねじで固定します。
  - ③戸当りに接着剤(現場手配)で溝をふさぎます。
- ※戸当りは必ず、敷居取付け後に取付けてください。  
 ※戸当りが長い場合は無理に入れずに必要量を切詰めてください。



**●片引き枠**

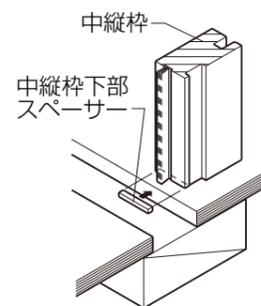
(引分け・片引き2・3枚建は片引き枠に準じる)

- ①埋込敷居およびフラット下レールに同梱の中縦枠下部スペーサーを、リップ面を上向きにして中縦枠のすき間にに入れてください。
- ※以下は引違い枠を参照してください。



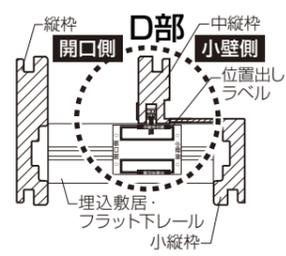
**■C部詳細**

- 片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建・引分戸の場合、中縦枠の位置出しは、フラット下レールおよび埋込敷居の位置出しラベルに合わせ取付けてください。

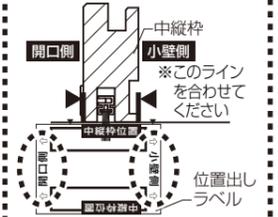


- ①片引戸(フラット下レール、埋込敷居)

※片引戸のフラット下レールおよび埋込敷居は左右勝手兼用ですが、中縦枠位置出しのため向きがあります。必ずラベルの「小壁側」「開口側」を確認してください。

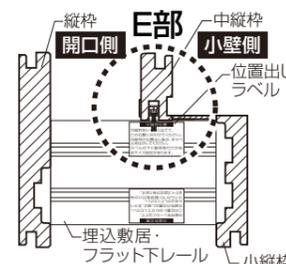


**■D部詳細**

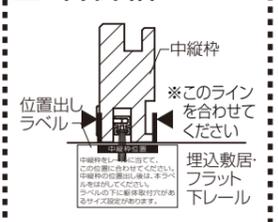


- ②片引戸2枚建・片引戸3枚建・引分け戸(フラット下レール)

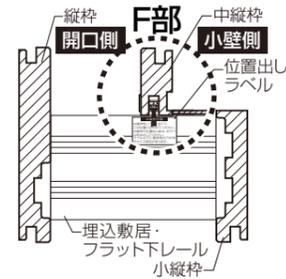
※片引戸2枚建・3枚建のフラット下レールは左右勝手兼用ですが、中縦枠位置出しのため向きがあります。ラベルが貼ってある方が小壁側になるように取付けてください。



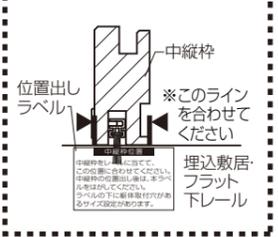
**■E部詳細**



- ③片引戸2枚建・片引戸3枚建・引分け戸(埋込敷居)



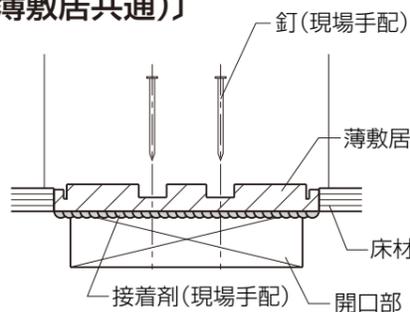
**■F部詳細**



**【薄敷居の取付け(ツバ付・ツバなし薄敷居共通)】**

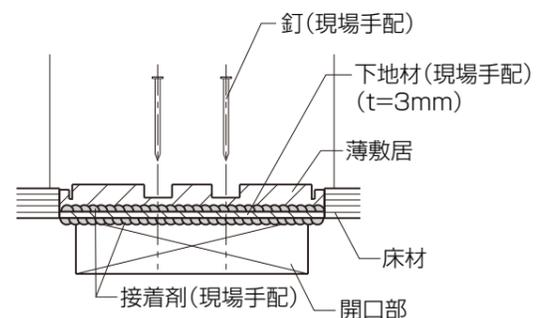
**●床材厚さ12mm**

- ※必ず薄敷居に接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。  
 ※釘は端部より100mm離し、450mmピッチで接着剤(現場手配)と併用して取付けてください。



**●床材厚さ15mm**

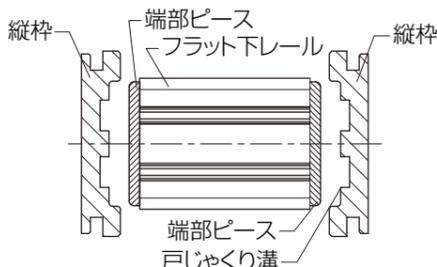
- ※必ず薄敷居と下地材に接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。



**【フラット下レールの取付け】**

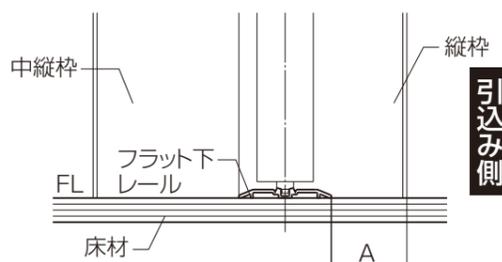
**①端部ピースの取付け**

- ※フラット下レールに同梱されている端部ピースを縦枠戸じゃくり溝側にはめ込みます。



**●片引き枠**

- ※引込み側にA寸法あけて仮置きしてください。



- ※中縦枠部は【埋込敷居の取付け】を参照してください。

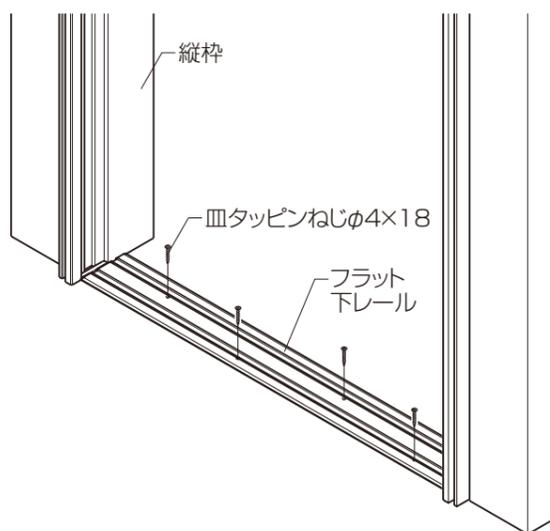
**●引違い枠**

- ※はめ込んだ端部ピースを縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。

- ②縦枠に合わせて仮置きしてください。

枠種類	A
NC90(片引戸)	4.5
NC115(片引戸)	17
NC156(片引戸・引分け戸)	37.5
NC171(片引戸・引分け戸)	52.5
NC180(片引戸・引分け戸)	61.5
NC180(片引戸2枚建)	26.5
NC210(片引戸3枚建)	21.5
薄壁(片引戸・引分け戸)	17
厚壁(片引戸・引分け戸)	44
C付150(片引戸2枚建)	17
C付190(片引戸3枚建)	22

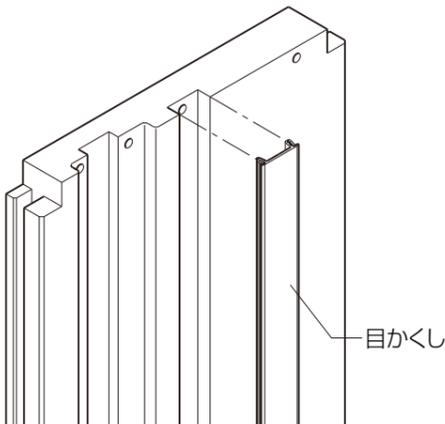
- フラット下レールをねじ(皿タップピンねじφ4×18)で固定します。



**お願い**  
 ※フラット下レールを固定する床(下地)は段差やすき間がないように仕上げしてからレールを固定してください。

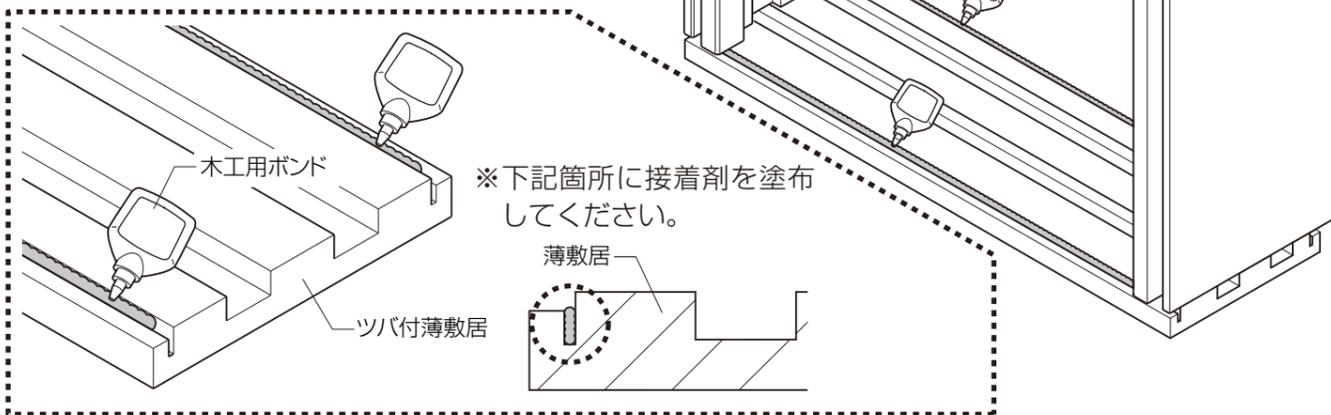
**お願い**  
 ※フラット下レールを取付けるねじは、締めすぎないようにしてください。フラット下レールが変形し、本体開閉不具合の原因となります。

- 片引き3枚建のみ
- 縦枠中央の溝に目かくしを戸当たりと同様に接着剤(現場手配)で取付けてください。

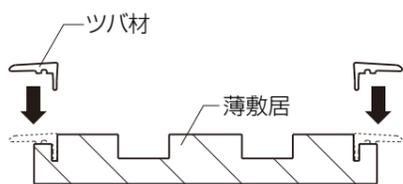


**〔ツバ材の取付け〕  
 (ツバ付薄敷居を使用する場合のみ)**

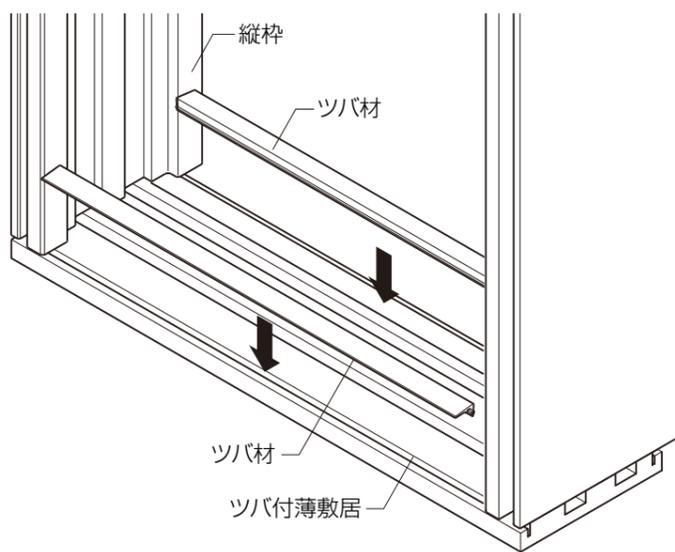
- ①現場でツバ材の寸法を開口に合わせて切断してください。
- ②薄敷居の溝に木工用ボンド(現場手配)を溝全長に隙間無く塗布してください。



- ③ツバ材を溝に手ではめこんでください。

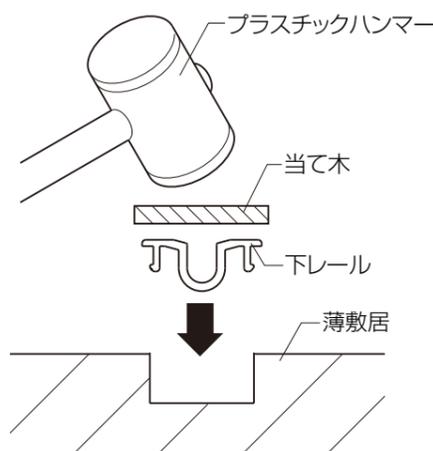


**お願い**  
 ※ハンマーなどで強くたたき込まないでください。

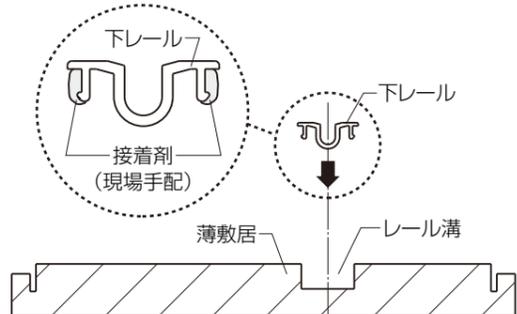


**〔下レールの取付け〕**

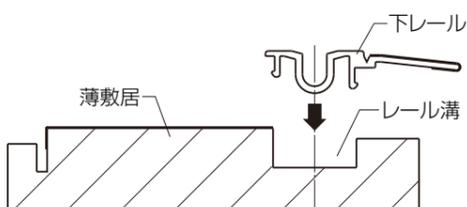
- 敷居の溝にプラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。



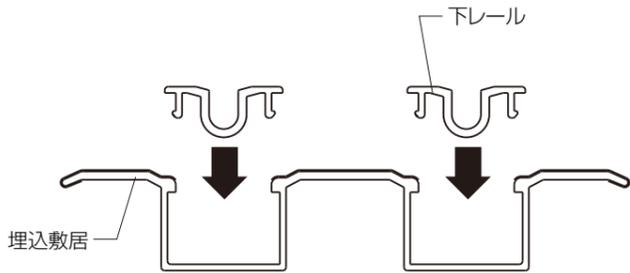
※接着剤(現場手配)は、レール溝にガタのある場合に使用してください。



※ツバ付薄敷居(NC90)用下レール NC90の場合、Vレール側はツバ形状が一体になっています。



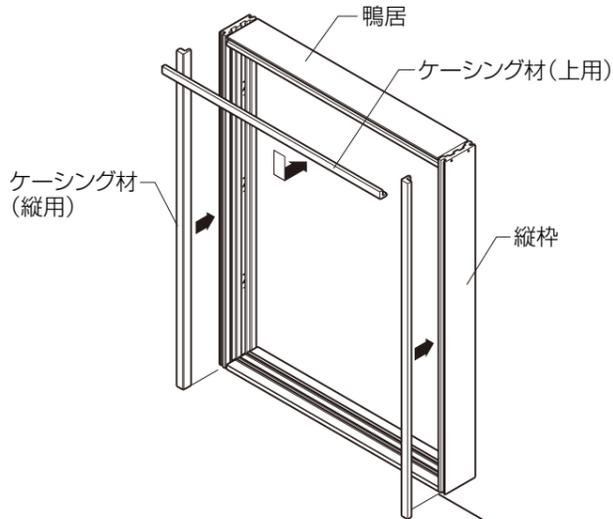
**〔埋込敷居の場合〕**



### 〔ケーシング材の取付け(ケーシングタイプのみ)〕

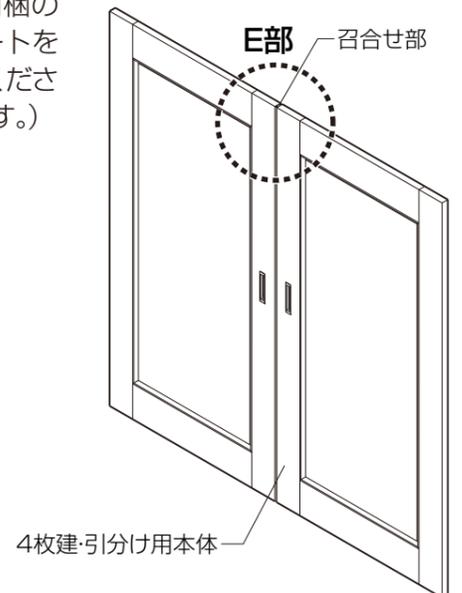
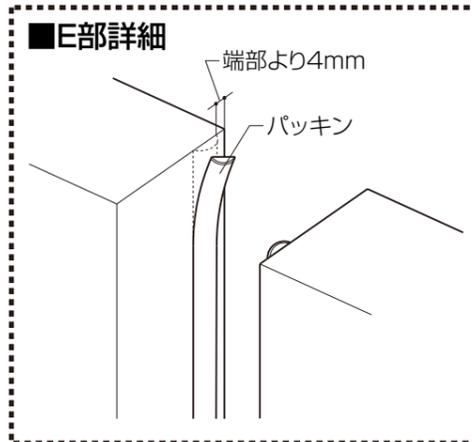
※壁材・床材を仕上げしてからケーシング材を取付けてください。

- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
- ②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
- ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、ケーシング材を固定します。



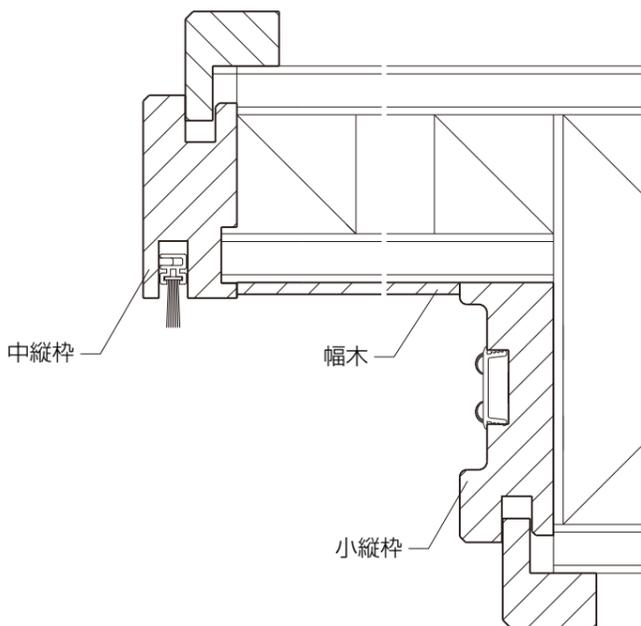
### ■召合わせパッキンの取付け(4枚建・引分けのみ)

※4枚建・引分け用本体の召合せ部に、枠に同梱のパッキンを取付けます。パッキン裏面のシートをはがし、5kg程度の力で手で押して張付けてください。(パッキンは枠のダンボールに入っています。)



### 〔幅木の取付け〕

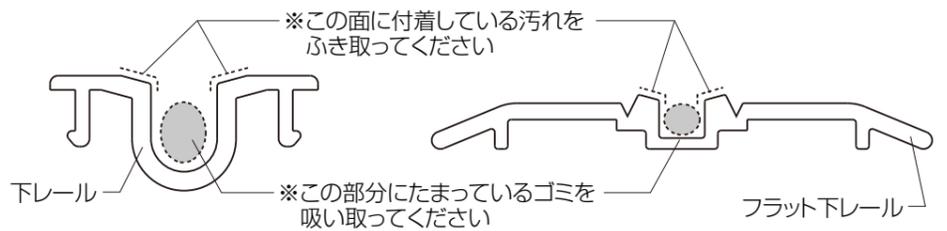
※片引き用枠には、小壁のボードと埋込敷居又はフラット下レールを見切るために幅木が同梱されています。必ずご使用ください。幅木部材の裏面にまんべんなく接着剤(現地手配)を塗布し、専用のかくし釘で固定します。かくし釘のピッチは、200~300mmです。



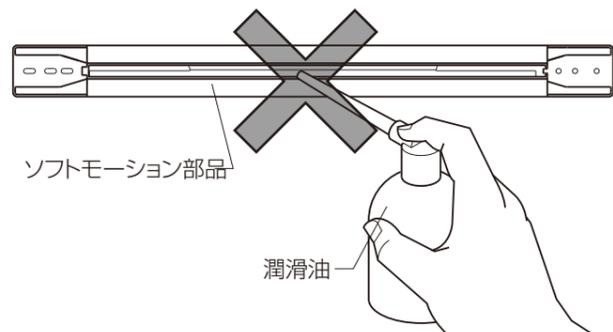
### ■3 本体の吊込み

※本体の吊込み前に以下の作業を行ってください。

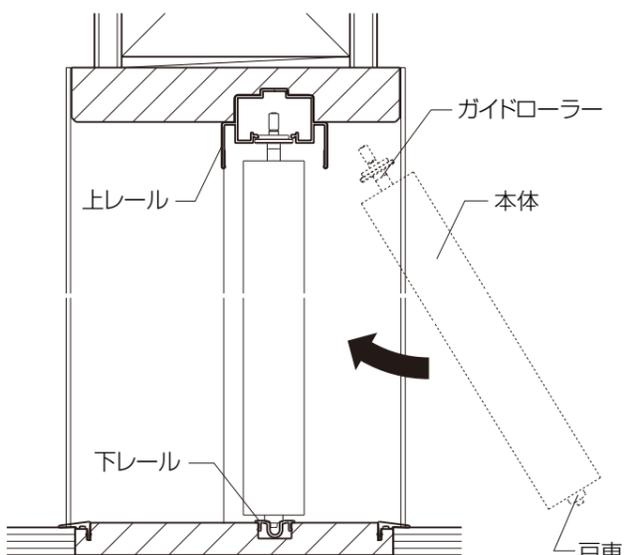
- ①レールの清掃を行ってください。



お願い  
※ソフトモーション部品に潤滑油などを塗布しないでください。作動不良の原因になります。

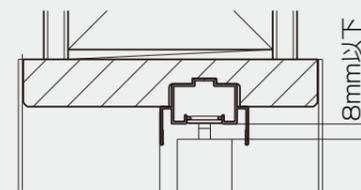


- ②本体を上げて、本体上部のガイドローラーを上レールにはめ込み、その後、本体下部の戸車を下レールにはめ込みます。



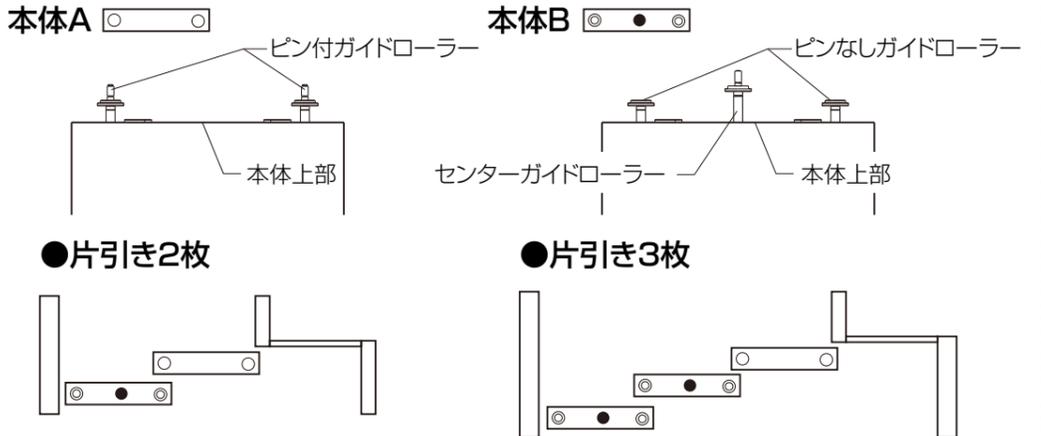
### ▲ 注意

- 建付け調整後、本体上端と上レール下端のチリ寸法が8mm以下であるか確認してください。本体と枠の間にすき間が生じ、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。



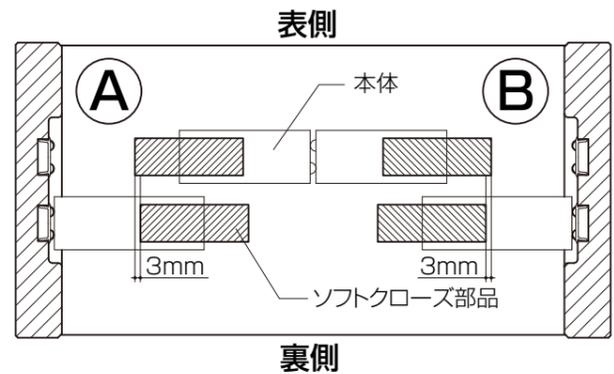
お願い

※片引き 2 枚建, 片引き 3 枚建の場合、本体の吊込み位置を右図の通り行ってください。ソフトモーション機構が正しく作動しません。



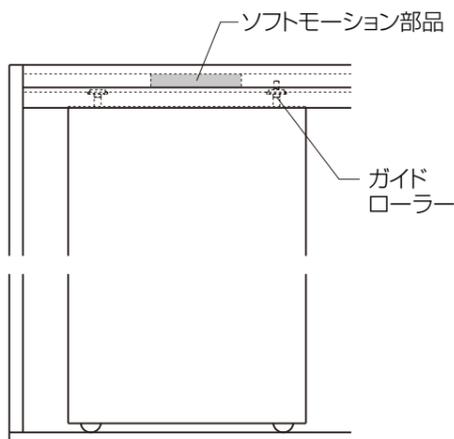
お願い

※引違い 4 枚建ては鴨居のユニットに表裏があるため、鴨居に(A)(B)スタンプが押印してあります。鴨居の向きと本体の納まりは必ず右図のようにしてください。正しく納めないと召し合わせの位置がずれたり、ソフトモーション機構が正しく動きません。

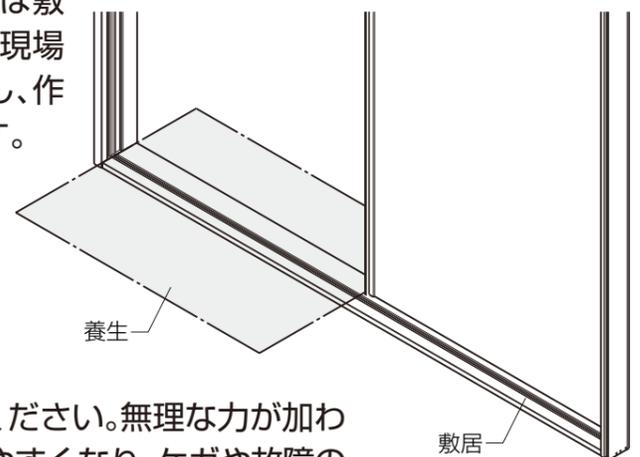


お願い

※ソフトモーション部品とガイドローラーが干渉しない位置で吊込みを行ってください。



※ソフトモーション機構調整後、現場作業が続く場合は敷居を養生してください。現場の粉塵がレールに付着し、作動不良の原因になります。



※本体に寄掛からないでください。無理な力が加わると、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。

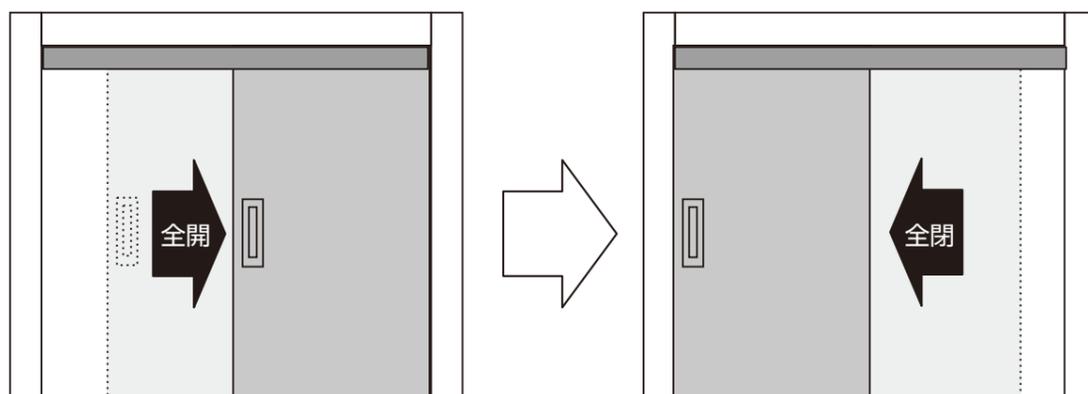
### ■ソフトモーション機構の自動復帰方法

※本体を吊り込んでソフトモーション機構が作動しない場合は以下の手順を行うことでソフトモーション機構が自動復帰します。

- ① 本体を全開してください。
- ② 本体を全閉してください。
- ③ ①、②を 1 ~ 2 回繰り返してください。ソフトモーション機構が復帰します。

※必ず縦枠に当たるまで全開・全閉を行ってください。

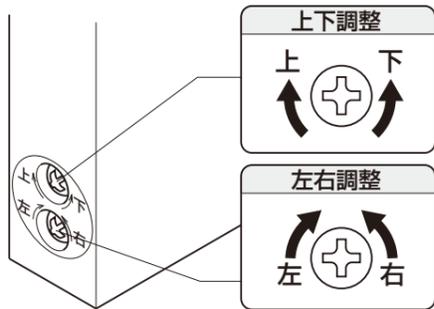
※開閉はゆっくりと行い、ソフトモーション機構復帰後は本体を無理に押し込んだり、引っ張ったりしないでください。作動不良の原因となります。



## ■建付け調整

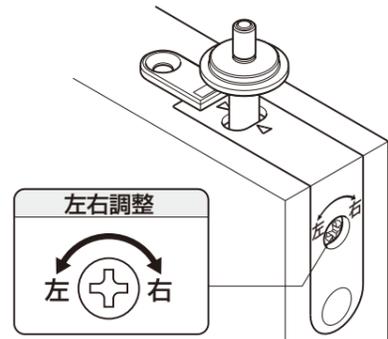
### 〔上下調整(調整幅+4mm、-2mm)〕

- 本体両下端の上下調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。

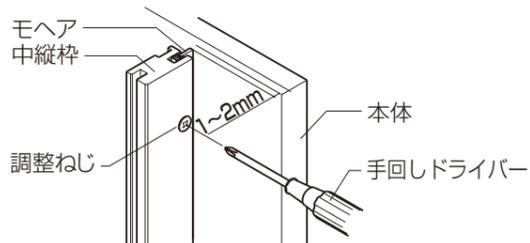


### 〔左右調整(調整幅±2mm)〕

- ①本体両下端の左右調整ねじを左に回すと本体が右に動き、右に回すと左に動きます。
- ②本体両上端の左右調整ねじを右に回すと本体が右に動き、左に回すと左に動きます。



### 〔中縦枠の調整(出荷時5mm、最大11mm)〕

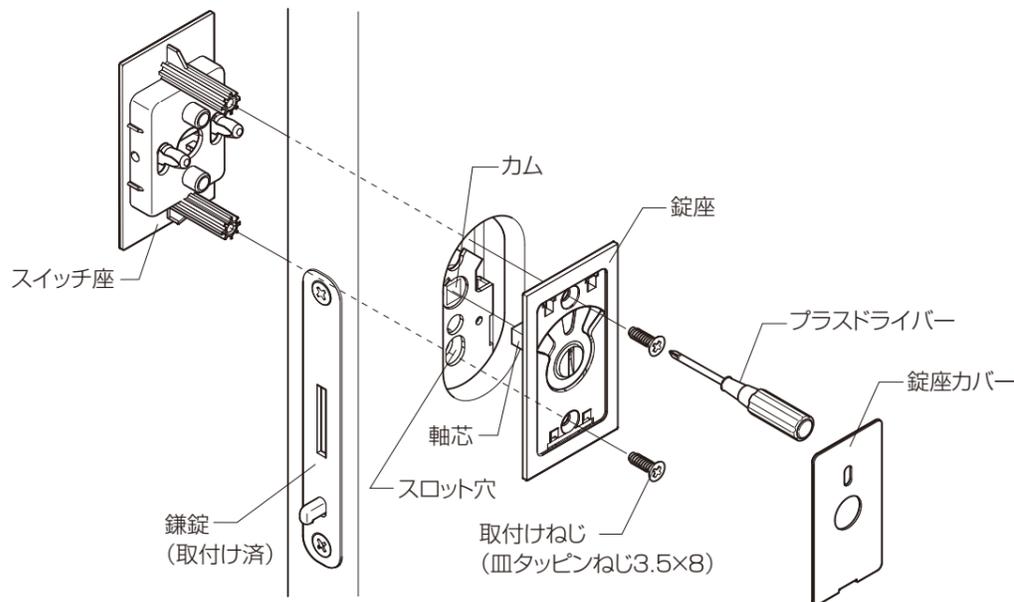


※本体とモヘアのすき間が1~2mm程度になるように調整してください。

出荷時には輸送時のモヘアの折れ曲がりを防ぐためモヘアを最も引っ込めた状態で出荷しています。

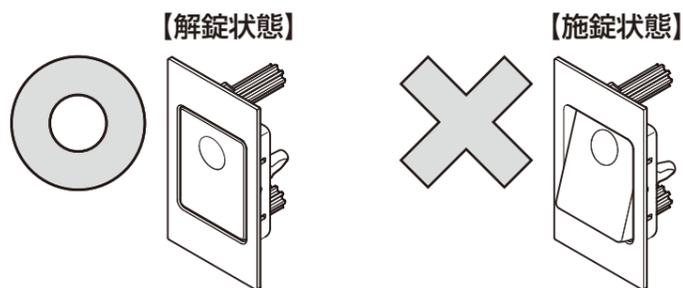
- ①中縦枠のモヘア調整ねじを手回しドライバーで回してモヘアの出寸法を調整してください。
- ②調整後、本体とモヘアの先端が1~2mmのすき間が確保されているか確認してください。

## ■プッシュ錠の取付け

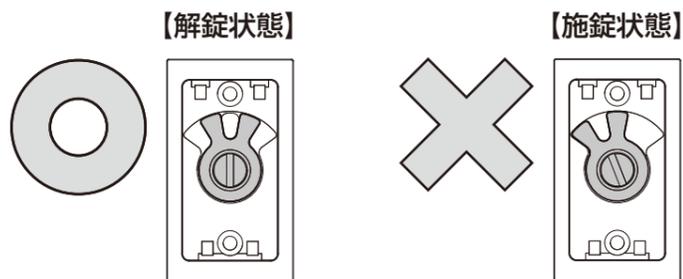


### 【錠の取付け】

- ①スイッチ座が解錠状態(フラットな状態)になっていることを確認して、スイッチ座を錠錠のロット穴に差込んでください。



- ②スイッチ座の軸心が解錠状態になっていることを確認して、錠座の軸芯を錠錠のカムに差込んでください。



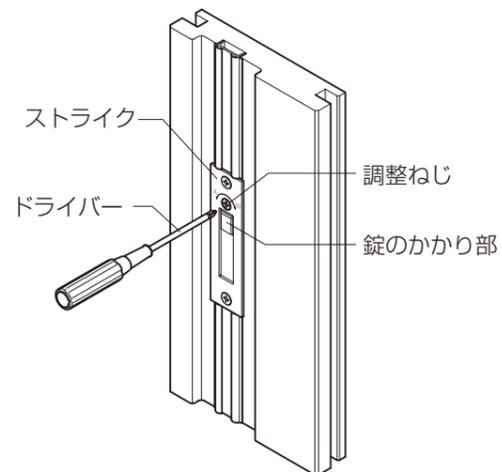
- ③スイッチ座と錠座を取付けねじで固定してください。

お願い  
※必ず手回しドライバーでねじを固定してください。  
※取付けねじを締め付け過ぎないでください。錠座が反ります。

- ④錠座カバーを錠座に取付けてください。

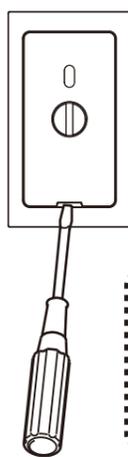
### 〔引戸錠のかかり調整〕

- ストライクの調整ねじを右に回すと錠のかかり部が出て、左に回すと錠のかかり部が奥に入ります。



### 【錠の取外し】

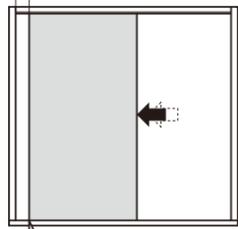
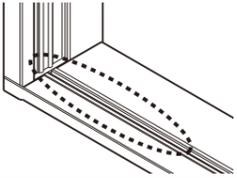
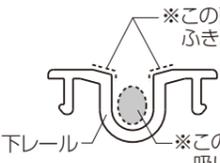
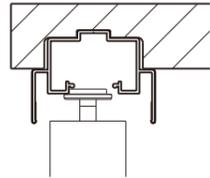
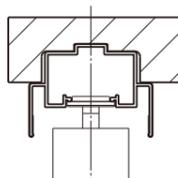
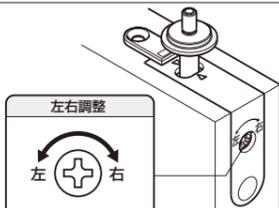
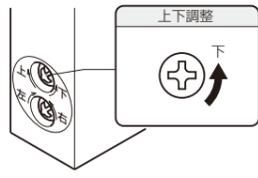
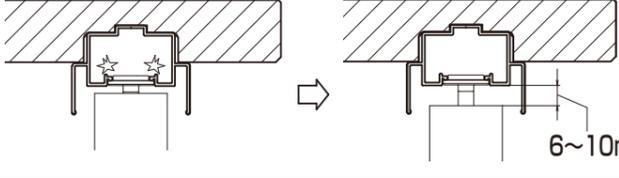
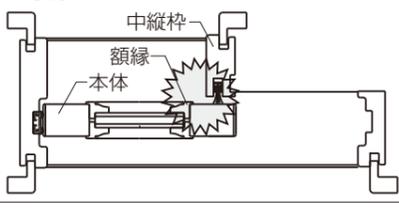
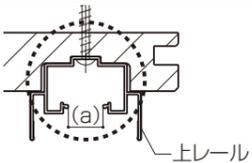
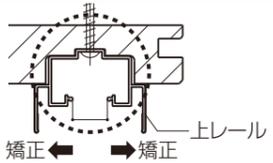
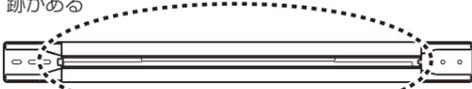
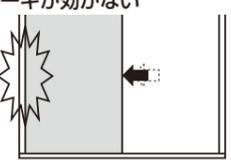
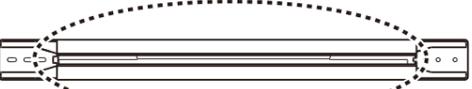
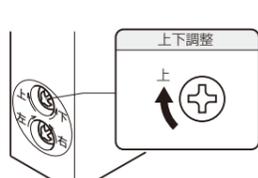
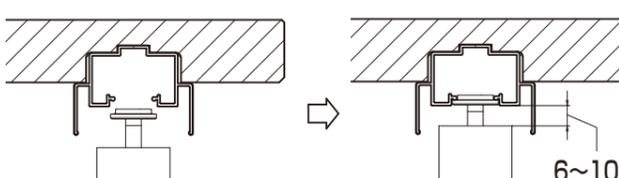
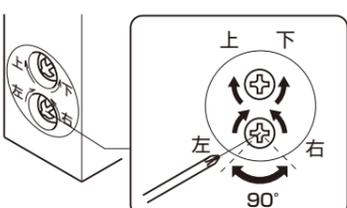
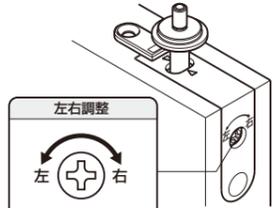
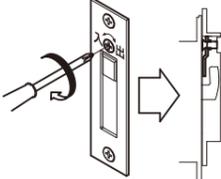
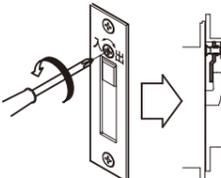
- ①錠座カバー下部の切欠き部にマイナスドライバーを差込んで錠座カバーを外してください。



お願い  
※無理矢理カバーを外さないでください。錠座カバーが破損するおそれがあります。

- ②スイッチ座と錠座の取付けねじを緩めてください。
- ③錠座とスイッチ座を外してください。

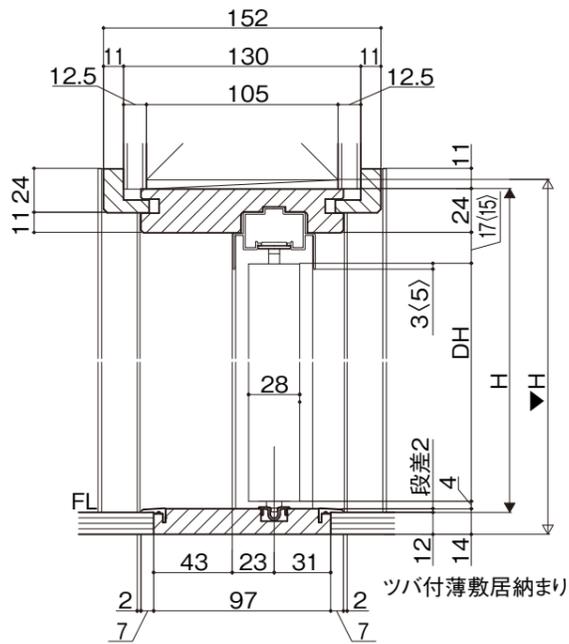
## ■異常時の対処方法

現象	チェックポイント	対処方法
<p>閉まりきらない</p> <p>すき間</p>  <p>STOP!</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●下レールに粉塵やゴミがたまり付着している</li> </ul> 	<p>清掃してください。</p> <p>※この面に付着している汚れをふき取ってください</p>  <p>下レール</p> <p>※この部分にたまっているゴミを吸い取ってください</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガイドローラーが上レールのセンターと芯がズれている</li> </ul> 	<p>ガイドローラーの左右調整ねじで芯を合わせてください。</p>  <p>■ガイドローラーの調整 左右調整ねじを右に回すと本体が右に動き、左に回すと左に動きます。(調整幅左右各2mm)</p>  <p>左右調整 左 ⊕ 右</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガイドローラーが上レールを圧迫している。</li> </ul>	<p>戸車を下げてください。</p>  <p>上下調整 下</p>  <p>6~10mm</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体とモヘアが接触している ※片引き・引分けのみ</li> </ul>  <p>中縦枠 額縁 本体</p>	<p>戸車とガイドローラーの左右調整ねじで本体にモヘアが触れて開閉が重くならないように調整してください。調整につきましては引戸本体の調整の〔左右調整〕、〔中縦枠の調整〕を参照してください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●枠の取付け精度が許容範囲をオーバーしている ※「■取付け精度の許容範囲」の欄参照</li> </ul>	<p>許容範囲内となるように再施工してください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●上レールの取付状態で (a) 寸法が狭まっている (レール端部駆体ねじ取付個所)</li> </ul>  <p>(a) 上レール</p>	<p>(a)寸法が<math>14.2 \pm 0.3</math>になるようにレールを矯正してください。</p>  <p>矯正 ← → 矯正 上レール</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ソフトモーション部品の外観に潤滑剤が塗布された形跡がある</li> </ul> 	<p>ソフトモーション部品の交換が必要です。</p>
<p>ブレーキが効かない</p>  <p>※ブレーキの効きには限界があります。重量の重たい本体を速く閉めるとブレーキ感を弱く感じたり、逆に重量の軽い本体・Wサイズの小さい本体を速く閉めるとブレーキ感を強く感じたりします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ソフトモーション部品の外観に潤滑剤が塗布された形跡がある</li> </ul> 	<p>ソフトモーション部品の交換が必要です。</p>
<p>ソフトモーションが作動しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガイドローラーがソフトモーションまで届いていない。</li> </ul>	<p>戸車を上げてください。</p>  <p>上下調整 上</p>  <p>6~10mm</p>
<p>本体同士が当たる</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●戸車調整が不適當</li> </ul>	<p>戸車・ガイドローラーの左右調整をしてください。 ※戸車調整ねじの可動範囲は90°です。これを超えて無理に回さないでください。</p>  <p>上下 左 ⊕ 右 90°</p>  <p>左右調整 左 ⊕ 右</p>
<p>鍵がかからない</p> <p>ガチッ!</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ストライク調整が不適當</li> </ul>	<p>ストライク調整ねじを右に回してください。</p> 
<p>鍵が甘い (縦枠と本体戸先に隙間が空く)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ストライク調整が不適當</li> </ul>	<p>ストライク調整ねじを左に回してください。</p> 

■納まり図

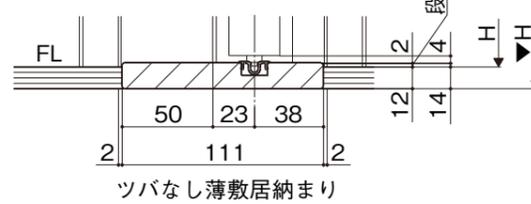
■片引戸標準・幅狭タイプユニット ケーシング付

●縦断面図



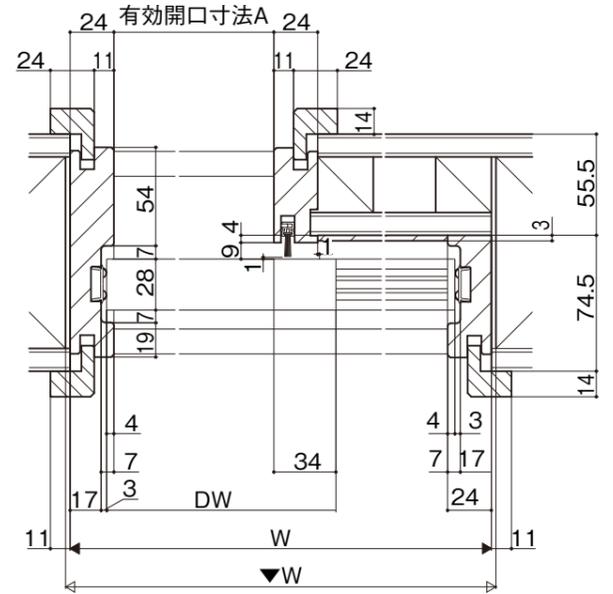
W呼称(枠外寸法)	A寸法	H呼称(枠外寸法)
W12(1188)	553	H18(1823)
W13(1324)	621	H20(2023)
W14(1454)	686	
W16(1644)	781	
W18(1824)	871	

■ 枠見込み 90・115mm の設定はありません。



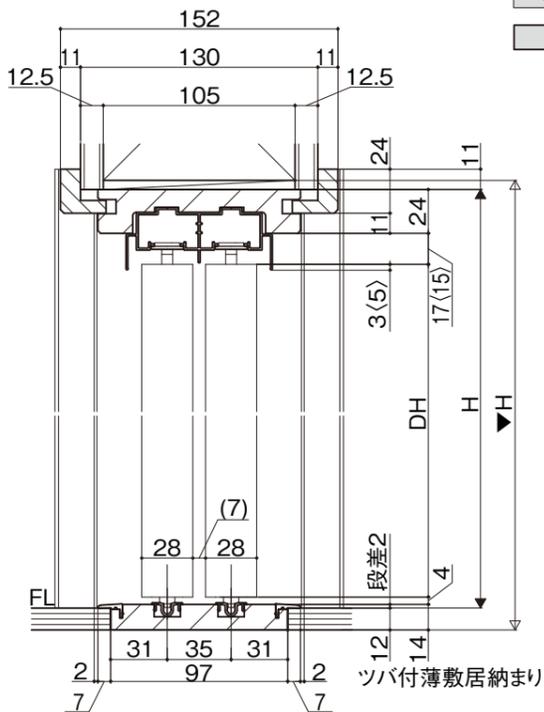
※ ( )内はフラット下レール納まりの寸法を示します。

●横断面図



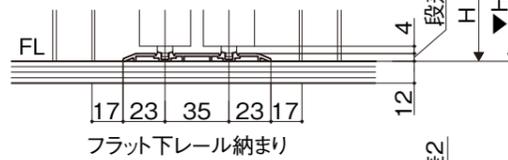
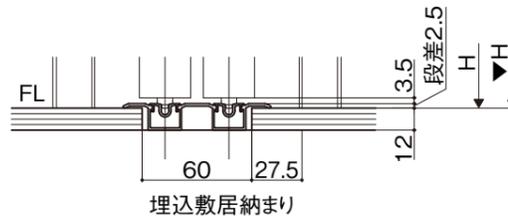
■引違い戸2枚建ユニット ケーシング付

●縦断面図



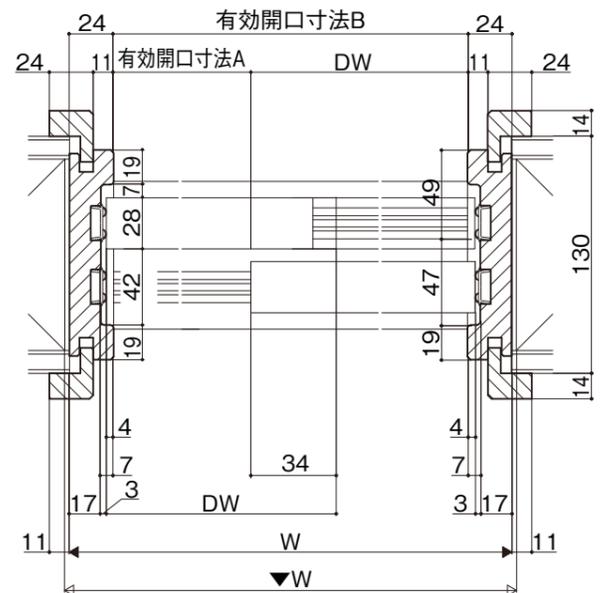
W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法	H呼称(枠外寸法)
W16(1644)	781	1596	H18(1823)
W18(1824)	871	1776	H20(2023)

■ 枠見込み 90・115mm の設定はありません。



※ ( )内はフラット下レール納まりの寸法を示します。

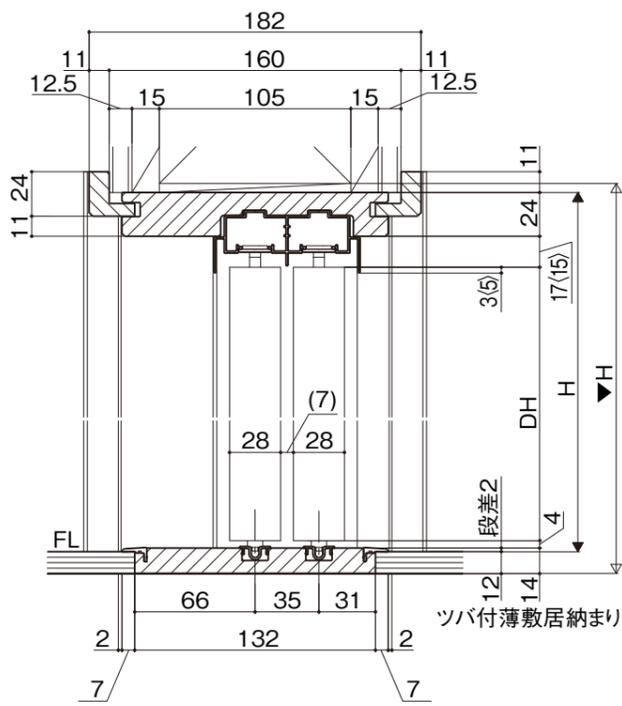
●横断面図





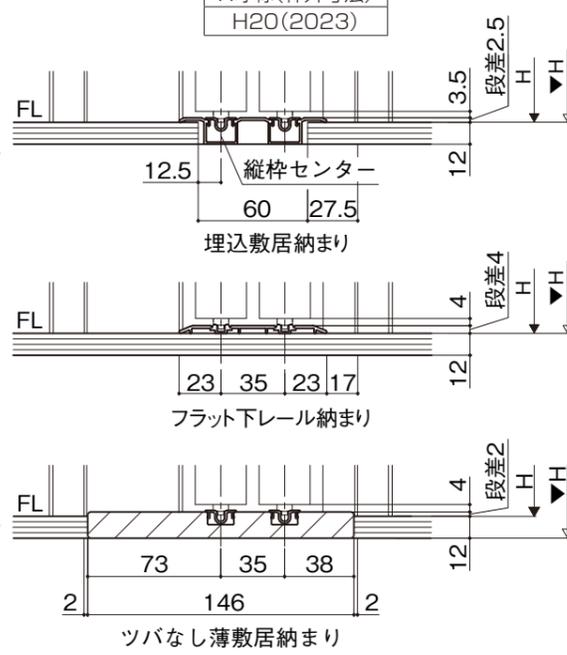
## ■片引戸 2枚建ユニット ケーシング付

### ●縦断面図

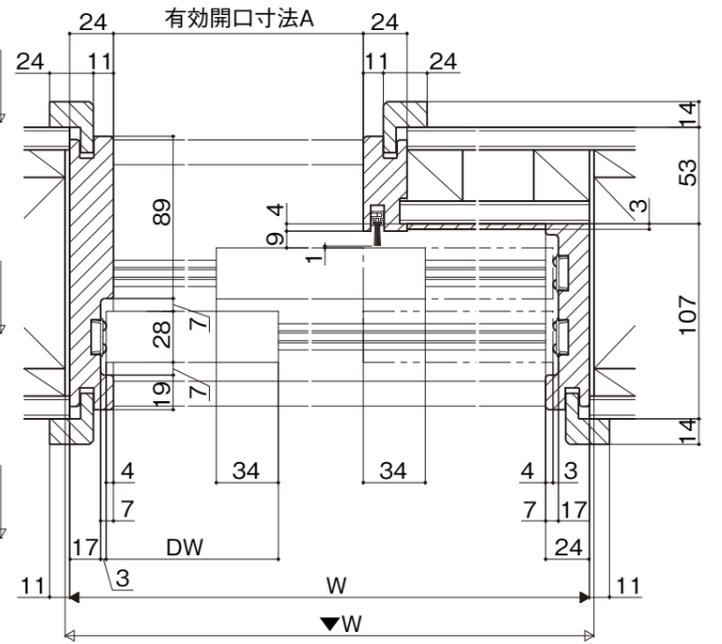


W呼称(枠外寸法)	A寸法
W24(2429)	1566

H呼称(枠外寸法)	
H20(2023)	



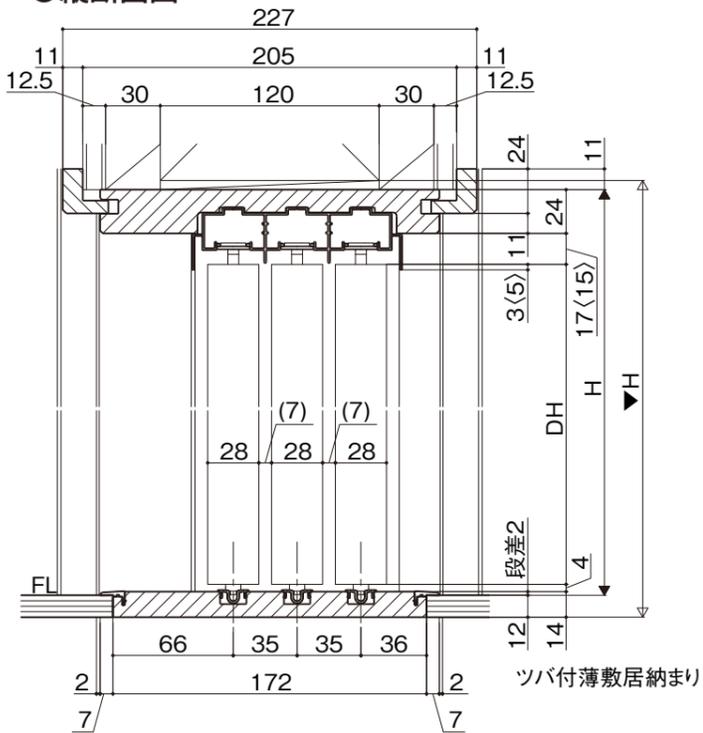
### ●横断面図



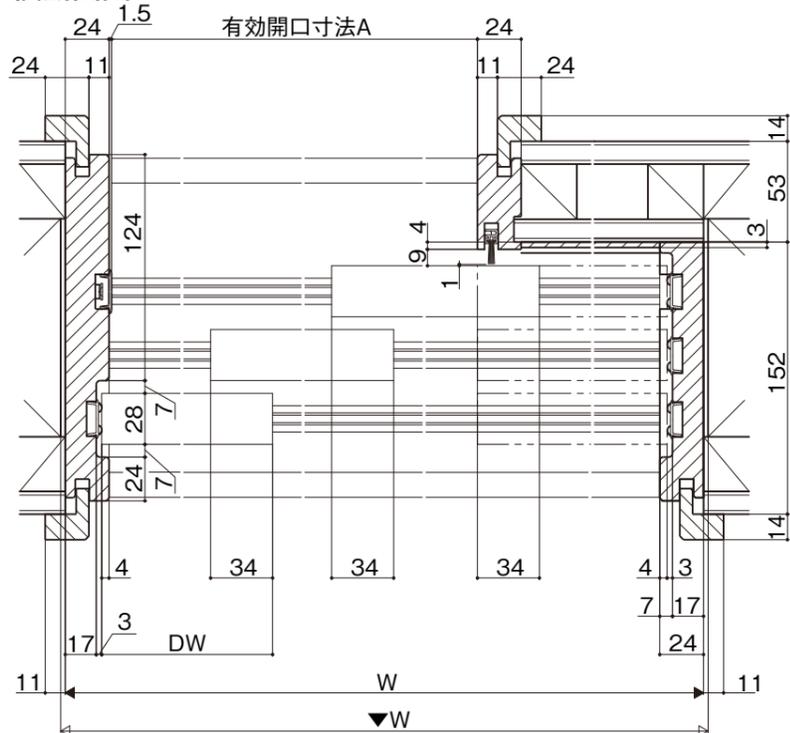
※〈〉内はフラット下レール納まりの寸法を示します。

## ■片引戸 3枚建ユニット ケーシング付

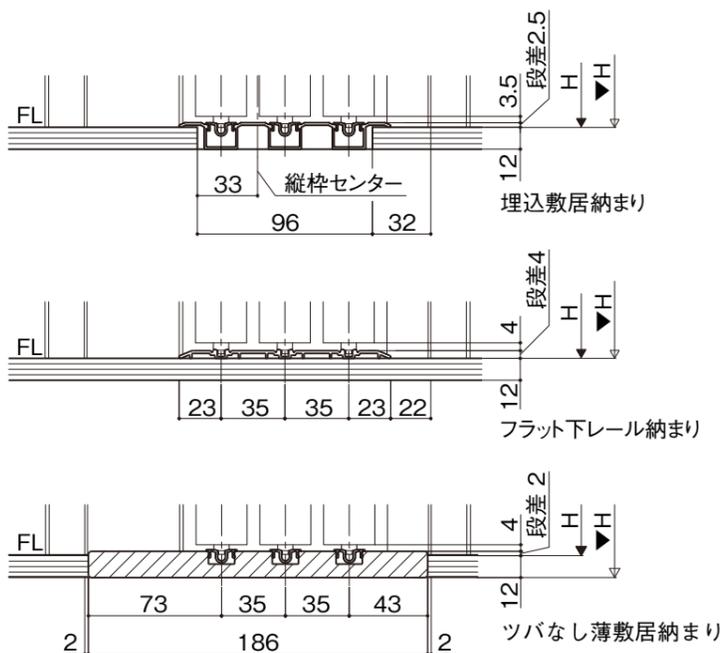
### ●縦断面図



### ●横断面図



※〈〉内はフラット下レール納まりの寸法を示します。



W呼称(枠外寸法)	A寸法
W32(3214)	2349.5

H呼称(枠外寸法)	
H20(2023)	

